

2016年10月13日
在リオデジャネイロ日本国総領事館

リオ州の安全情報(2016年44号)

ラパ地区で邦人被害の強盗未遂事件が発生

10月12日(水)、午後2時頃、リオ市内旧市街のラパ地区において、邦人が被害者となる強盗未遂事件が発生しました。

1 発生状況

10月12日(水)午後2時頃、日本人2名(男・女)がリオ市ラパ地区の水道橋前広場からカテドラル(大聖堂)へ向かう路地に入ったところ、ナイフを所持した少女1名が近づいてきて、日本人男性がたすき掛けにしていたカメラの紐を切り裂き、同カメラを持ち去ろうとした。その後、すぐさま日本人男性は同女を追いかけ、奪われたカメラを取り返した。

2 当館から

今回、幸い邦人に被害はありませんでしたが、当地では、例え相手が少年だったとしても、ナイフやけん銃等の武器を所持している可能性があり、抵抗することは極めて危険です。強盗に遭った際には、決して抵抗することなく、相手の要求に素直に応じるようにして下さい。

また、今回、被害のあった旧市街地においては、特に夜間、休日等における被害が多く報告されています。特に夜間のセントロ地区の移動に関しては、近距離でもタクシーを利用する等の対策が必要ですので、十分注意するようにして下さい。

【当館からのアドバイス】

- 外出する際は、なるべく華美な服装はさけましょう。
- 多額の現金を持ち歩かないようにしましょう。
- 常に自分が警戒していることを周りにアピールしましょう。
- スマートフォン、カメラ等は不必要な際にはカバン等に収納しておきましょう。
- 万が一、強盗に遭ってしまったら、決して抵抗せず、相手の要求に従って下さい。